

主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 9

福音書において (9)

復活と小麦

聖書：ヨハネ 11:25. 12:23-24. II コリント 1:8-9. 4:16. ローマ 8:28-29.

ピリピ 3:10-11. I コリント 15:58

I. わたしたちは復活としてのキリストを経験し、享受し、表現することができます——ヨ

ハネ 11:25 :

- A. わたしたちは復活の中で生きるために、キリストの復活に関する覆われた真理を見なければなりません :
1. キリストは人性において彼の復活の中で神によって生まれ、神の長子となりました——使徒 13:33. ローマ 8:29 後半。
 2. キリストのすべての信者はキリストの復活を通して父なる神によって再生され、彼のからだ、彼の複製としての召会を生み出しました——I ペテロ 1:3. ヨハネ 12:24. I コリント 10:17。
 3. 最後のアダムとしてのキリストは、命を与える霊と成りました—— 15:45 後半。
 4. 主の復活のこの主要な項目 (神の長子、神の多くの子たち、命を与える霊) がなければ、召会はなく、キリストのからだはなく、神のエコノミーはありません——参照、コロサイ 1:18. I コリント 12:12. エペソ 4:4。
- B. その霊は三一の神の実際、復活の実際、キリストのからだの実際です :
1. 手順を経た三一の神の実際は、究極的に完成された実際の霊です——ヨハネ 14:17. 15:26. 16:13. I ヨハネ 5:6。
 2. 復活の実際は、命を与える霊としてのキリストです——ヨハネ 11:25. 20:22. I コリント 15:45 後半。
 3. 実際の霊は、手順を経た三一の神のあらゆることを、キリストのからだの中で実際とします——ヨハネ 16:13-15。
 4. その霊がなければ、キリストのからだはなく、召会はありません——エペソ 4:4。
- C. わたしたちはキリストのからだの実際の中にいるために、絶対的にキリストの復活の命の中にいる必要があります :
1. 召会は絶対にキリストの要素のものであり、絶対に復活の中にあり、絶対に天上にあります——I ペテロ 1:3. エペソ 2:6. 参照、創 2:21-24。
 2. 金の燭台は、キリストのからだとしての召会を予表し、復活の命としてのキリストが成長し、枝を出し、芽を出し、花を咲かせて、光を輝かせることを描写しています——出 25:31-40. 民 17:8. 啓 1:11-12。
 3. わたしたちは天然の命によってではなく、内側の神聖な命によって生きるとき、復活の中にいます。この結果はキリストのからだです——ピリピ 3:10-11 :
 - a. わたしたちはみな主によって取り扱われて神聖で奥義的な人となり、自分の天

然の命を否むことによって神聖な命を生きる必要があります——参照、ヨハネ 3:8。

b. たとえ聖書的であっても天然の命の中で遂行されるものは何であれ、キリストのからだの実際ではありません——I コリント 3:12。

D. わたしたちは復活の中で生きるために、復活の神を知り、経験し、獲得しなければなりません——II コリント 1:8-9 :

1. 神は十字架を通して働いてわたしたちを終わらせ、終わりにもたらし、わたしたちがもはや自分自身ではなく、復活の神に信頼するようにしています——9 節。

2. 生ける神は人のために多くの活動をすることができますが、生ける神の命と性質が人の中に造り込まれることはありません。復活の神が働くとき、彼の命と性質は人の中に造り込まれます :

a. 神は働いて、彼の大能が外側の活動において知られるようにしているのではなく、働いてご自身を人の中に分け与え、造り込んでいます——ガラテヤ 1:15-16. 2:20. 4:19。

b. 神は環境を用いて、彼の命と性質をわたしたちの中に造り込んでいます——II コリント 4:7-12. I テサロニケ 3:3。

c. わたしたちは復活の中で生き、復活の神で構成されるために、「すべて」を通して神の長子としてのキリストのかたちと同形化されなければなりません——ローマ 8:28-29. ヘブル 12:10. エレミヤ 48:11。

d. この宇宙における苦難の主要な目的は、特にそれは神の子供たちと関係があり、それを通して神の性質が人の性質の中に造り込まれ、人が最も完全な程度にまで神を獲得することです。

e. わたしたちが苦難を経過するとき、継続的な更新が日ごとにわたしたちの中で起こる必要があります。それは神が彼の心の願いを完成して、わたしたちを新エルサレムとすることができるためです——エゼキエル 36:26. II コリント 4:16. 5:17. 啓 21:2。

3. わたしたちは復活の中で生きるために、復活の命の新鮮な供給で養われることによって、日ごとに更新されなければなりません——II コリント 4:16 :

a. 真のクリスチャン生活は、朝も夕も日ごとに、復活の神がわたしたちの中に加えられることです——コロサイ 2:19. ローマ 8:10, 6, 11。

b. わたしたちは復活における神聖な命の更新する能力を受けるために、神に触れ、自分を彼に開き、彼にわたしたちの中に入れてきていただき、日ごとにわたしたちの中で新しい追加となっていていただく必要があります——ピリピ 2:12-13. 3:10-11. 詩第 18 篇, タイトル :

(1) わたしたちが更新されるのは、十字架、聖霊、わたしたちのミングリングされた霊、神の言葉によります——II コリント 4:10. テトス 3:5. エペソ 4:23. 5:26。

(2) わたしたちは毎朝、復興される必要があります——マタイ 13:43. 箴 4:18。

(3) わたしたちは人を赦し、また赦されることを求めることによって、新しさの原則の中で主の食卓に来るべきです——マタイ 26:29. 5:23-24. 18:21-22, 35。

4. 十字架の殺しは復活の命の現れをもたらします。この日ごとの殺しは、復活の中で神聖な命を解き放つためです——Ⅱコリント 4:10-12。
5. わたしたちの天然の力と能力は十字架によって対処され、主に対するわたしたちの奉仕のために、復活の中で有益なものとなる必要があります——ピリピ 3:3 :
 - a. モーセは四十年間、神によってわきにやられた後、神の導きにしたがって神に仕え、彼の信頼することを学びました——出 2:14-15. 使徒 7:22-36. ヘブル 11:24, 28。
 - b. ペテロは完全な失敗となった後、信仰によって、またへりくだりをもって、兄弟たちに仕えることを学びました——ルカ 22:32-34. ヨハネ 18:15-18, 25-27. マタイ 26:69-75. I ペテロ 5:5-6。
 - c. 芽を出した杖は、わたしたちが神に受け入れられるものとしての復活におけるキリストの経験を表徴し、神の与えられた務めにおける権威のためです——民 17:8。
 - d. 七倍に強化された命を与える霊はただ、復活における事を尊重します。もしわたしたちが復活の中にないどんな働きでも行なうなら、命を与える霊は決してそれを尊重しません——Ⅰコリント 15:58. 3:12。

Ⅱ. わたしたちは小麦としてのキリストを経験し、享受し、表現することができます——ヨハネ 12:24 :

- A. キリストの神性と彼の神聖な命の栄光は、一粒の麦としての彼の中に隠されていました—— 23-24 節。
- B. 彼の神性の栄光が彼の人性の殻によって隠されていたとき、彼は圧迫され抑制されて、彼の死のバプテスマをもってバプテスマされ、彼の神性の栄光が彼の神聖な命の火をもって解き放たれることを切望していました——ルカ 12:49-50。
- C. キリストの神性の栄光を解き放つことは、彼の死によって彼の人性の殻を砕くことを通してでした——ヨハネ 12:24。
 1. 彼は唯一の麦であり、それは彼の神聖な命と神聖な栄光を含んでいました。
 2. 彼の人性の殻が彼の十字架を通して砕かれたとき、彼の神性のすべての要素（彼の神聖な命と神聖な栄光）が解き放たれました。
 3. この意味で、彼の死は命を解き放つ死であり、同時に彼の栄光が解き放たれると考えられます。
- D. キリストの神性の栄光を解き放つことは、御父によって、彼の復活の中で神聖な栄光をもって、彼の死を通して彼の栄光が現されることです—— 23-24 節. ルカ 24:26。
- E. キリストは彼の人の生活において、彼の御父が彼の栄光を現すようにと祈り、御父は彼の祈りに答えました——ヨハネ 17:1. 使徒 3:13。
- F. そのように栄光を現すことは、キリストを肉体と成った時期から包括の時期に移し、そこにおいて彼は、最後のアダムとして、復活の中で命を与える霊と成りました。
- G. キリストは小麦として彼の命を解き放つ使徒命を分与する復活を通して、すべての信者を、手順を経た三一の神との合併の中にもたらしめました :
 1. 神は彼の神聖な三一において一つの合併です——ヨハネ 14:10-11。
 2. 究極的に完成された三一の神と再生された信者たちは、キリストの復活の中で合

併となりました—— 16-20 節。

H. キリストの復活の中で、手順を経た三一の神と再生された信者たちとの拡大された、神性と人性の、宇宙的な合併が、変貌した小麦としてのキリストから、三つの面が出て来ました：

1. 第一の面は、御父の安息、満足、現れのための御父の家です—— 2 節：
 - a. キリストにあるすべての信者は御父の家の中の住まいです—— 2 節前半。
 - b. 御父の家が建造されるのは、御父、またその霊を伴う御子が、贖われた選びの民を絶えず訪れることによってです—— 21, 23 節. エペソ 2:19-22. 3:16-19。
2. 第二の面は、神の拡大、広がり、栄光を現すことのためのまことのぶどうの木です——ヨハネ 15:1-8, 16：
 - a. まことのぶどうの木は、すべてを含むキリストのしるしとして、手順を経て究極的に完成された三一の神の有機体です。
 - b. その接ぎ木された枝は神聖な命をもって再生され、十字架につけられ復活したキリストとの命の結合の中へともたらされ、手順を経て究極的に完成された三一の神と合併されました。
3. 第三の面は、その霊の子供、新しい人であり、神の永遠のエコノミーを完成します—— 16:13-16, 19-22 節：
 - a. 新しい子供、新しい人は、究極的に完成された霊によって生まれました——エペソ 2:15。
 - b. わたしたちが思いの霊の中で新しくされることによって新しい人を着ることは、最終的にキリストのからだを究極的に完成し、キリストのからだは新エルサレムを究極的に完成します—— 4:23-24。